

自転車保険が  
ますます充実  
ますます充実  
新年度より、掛け金据え置  
きで内容がグレードアップし  
ます。東京土建ならではのス  
ケールメリットを活かした組  
合オアシナルの自転車保険。  
ぜひご利用下さい。  
(関連記事6面)

# けんせつ

印刷部数 108,400部 発行人・編集人 吉川 豊

定価 五十円  
(年間購読料 千八百円)  
購読料は組合費のな  
かに含まれています

東京土建一般労働組合  
東京都新宿区北新宿1-8-16  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
ホームページ  
http://www.tokyo-doken.or.jp/



## 春の拡大月間 後継者等の力を 引き出し3.5%達成

### 2023年 春の拡大実績

支部名	期間累計	月間の拡大率	年間の累計拡大数
足立	229	2.69	374
荒川	57	3.05	85
葛飾	★149	3.51	226
文京	★38	3.54	48
台東	29	2.03	39
墨田	★115	4.26	146
江東	★143	4.76	174
江戸川	265	3.11	492
板橋	★230	4.88	340
豊島	★86	4.18	116
北馬	★109	4.09	162
練馬	★234	3.60	313
港	★43	3.50	61
品川	37	1.79	61
大田	★183	4.23	272
目黒	★116	5.38	152
渋谷	★105	3.64	145
世田谷	★179	3.97	232
新宿	★70	3.75	124
中野	★203	4.04	308
杉並	★168	5.31	223
三鷹	★81	4.03	118
武蔵野	★53	4.13	72
狛江	★101	3.66	187
調布	★166	4.27	244
多摩西部	★141	3.54	203
西多摩	41	3.31	70
小金井	★145	5.17	195
国分寺	★90	4.09	144
府中	69	3.02	94
八王子	★85	4.08	116
日野	64	2.53	112
多摩・稲城	★97	3.59	145
町田	34	2.00	61
小平	★60	3.58	90
東村山	61	3.12	89
清瀬	★4,076	3.72	6,033
久留米			
西東京			
村山			
大和			
全支部合計			

## 第46回住宅デー 地域に東京土建あい



近藤区長も参加して、高所作業車からのお菓子まき。子供の大きな歓声が響く

盛りだくさんの楽しい企画を用意して、6月11日、足立支部花保分会の住宅デーが花保さくら公園で開かれました。あいにくの天気にもかかわらず、子供を中心に多くの来場者が訪れました。

近隣小学校へのチラシ配布の効果もあってか、10時の開場と共に子供達が来場。駆け出して友達と合流する小学生なども見られ、この日を楽しみにしていた様子がかげえました。特に目を引いたのは水を張って浮かべた巨大な二つのウォーターチューブ。早速、行列ができていました。運営に奔走していたのは分会後継者対策部長の黒沼祐介さん。自身も楽しみながら、高所作業車からのお菓子まきでは「元気のいいところまき」とラナウンス。下の子供



チラシを見て来場の親子。右端は小村分会長

多摩西部支部は6月4日、8分会が住宅デーを行ないました(他の2分会は同日17日に開催)。

## 足立・花保 お楽しみ企画 盛りだくさん 喜ぶ子供、区長も来訪

丁研ぎのリクエストも多くて、やりたかったがこの間でできなかったのが、本当に良かった。お客さんも楽しみにしてくれていたが、自分たちもそう。多くの人が来てくれて幸せな気分です」と語ってくれました。様々な仕掛けで人を呼び込む中で、住宅相談も8件を受け付けました。

分会長の小山剛さんは「今日は久しぶりの住宅デー。包丁研ぎ・まな板削り、住宅相談のほか、バルーンアートやモザイクアートコーナーなどのイベントが取り組まれました。分会長になって3年目の小村正史さんは、「考えているのは拝島地域の活性化。住民の皆さんとのコミュニケーションを大事にしています」と話してくれました。テーブルに並んだ玉ねぎなどの野菜は、地元農家から仕入れて原価で安く販売しているのだとか。親子連れの来場者が、「良かったね、まだあったね」と言ってジャガイモを買っていく光景などが見られました。

「めざすは地域活性化」

多摩西部・包丁、野菜、バルーン

私たちは大きな歓声でアピール合戦となり、会場は大いに盛り上がりました。

午後には足立区の近藤やよい区長が来場。「土建さんが用意してくれた住宅デーを楽しんで」とあいさつし、多様なブースを回りながら花保分会の組合員と笑顔で声をかけ合っていました。

野万壽夫あわのますお仕事対策部長は「心配していた雨も上がり、良い天気良かった。去年はコロナの影響であまり大びらにできず、モザイクアートを地味にやったが、今年は部会でやりたいという意見が多かったバルーンアートを広げていきたいということに練習も回りました。あと丸太切りとかカンナ削りとかをやる場所が多いみたい」とうれしそうに語り、他の会場へと向かいました。

## 朝やけ

■6月14日、国会正門前。S TOPインボイス全国一揆に参加しようとして500人が集まった。「二揆」とは現在の国民負担率が約50%であることと、農民を生かさず殺さず五公五民で年貢を絞りとった江戸時代なら一揆が起こる、我慢の限界を超えたレベルであることを表している。

「この制度で影響をうけない国民はいない」との言葉のとおり、アニメーター、農家、建設従事者、ウーバーイーツの配達員、映画人から芥川賞作家まで、さまざまな立場から反対の声が上がった。「この税制のせいで日本という国が減んでしまつ」と。

■併せて、消費税をめぐる国と財務省の欺瞞についても語られた。ユーチューブでも発信する弁護士の郷原信郎氏。「国は、消費税は預り金という大ウソをつき、免税事業者を泥棒呼ばわりしてきた。国民をだますな」との発言に「えっ」と声がかかる。

■最後に、この運動を主導する一人、フリーライターの小泉なつみさんは、国会の超党派議連が90人にのぼること、署名が20万人を越えていること、この「一揆」が全国20カ所同時刻に行なわれていることなど、運動の広がりを報告。そして、声を張り上げることなく、自然に「このインボイスを止められると思っている」と述べた。